



# とっとり

公益財団法人  
鳥取県国際交流財団  
Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取县国际交流财团

# 国際通信

No. 140  
July, 2022

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国际通讯 Bản tin quốc tế Tottori



## 子どものための異文化理解体験講座



表紙 Photo

令和3年度

## 子どものための異文化理解体験講座の様子

2021 Children's cross-cultural awareness workshop

令和3年度 以孩童为对象的异文化理解体验讲座的情景

Năm 3 Lệnh hòa Buổi học trải nghiệm hiểu biết đa văn hóa dành cho trẻ em

### 目次 Contents / 目录 / Mục lục

● TPIEFだより	02・03	● 共に生きる ～多文化共生～	06
令和4年度 主な事業の開催状況		● われら“ <sup>とっとりじん</sup> 鳥取人”	07
● 多文化共生コーディネーターの配置		● JICAデスクよりお知らせ	07
● 外国人相談窓口の運営		● 英語版・中国語版・ベトナム語版	08・09
● 財団の新しい仲間の紹介		ダイジェスト	
● 国際交流コーディネーターの紹介		Information in English, Chinese and Vietnamese	
● 2022年度鳥取県韓国江原道職員	04	英文版・中文版文摘・越语版	
相互派遣研修員の紹介		Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt	
● 財団発行の冊子を紹介します		● 賛助会員募集のご案内	10
● 国際交流フェスティバルの実施		● おすすめ図書コーナー	10
● 特集「多文化共生サポーターとは？」	05		





令和  
4年度

# 主な事業の開催状況

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見通せていませんが、感染の広がりを抑えながら、withコロナで事業の実施に取り組んでいます。主な事業の実施状況と、その事業に携わるスタッフからのメッセージを紹介します。

## 多文化共生コーディネーターの配置

外国人住民の多国籍・多言語化が進み、抱える問題はますます複雑に多様化しています。県内在住外国人ならではの視点で課題解決に取り組むため、新たに多文化共生コーディネーターを配置しました。



グエンギ

多文化共生コーディネーター

鳥取県国際交流財団(TPIEF)多文化共生コーディネーターのグエンギと申します。どうぞよろしくお願いいたします。

ここ数年、外国人の鳥取県への居住が多くなり、国籍も様々です。TPIEFでは、県民と多様な文化的背景をもつ人々との幅広い交流促進を目指し、在住外国人の生活相談やコミュニケーションの支援、多文化共生の地域づくりなど様々な取り組みを行っています。

ベトナム出身で10年近く鳥取県に居住している私は、自分の体験したことや外国人の目線から日本語の理解が十分でない外国人住民に日本語教材から最新の各制度まで母国語などのFacebook経由で必要な情報発信を行っています。

また防災・医療など生命に関わる場面をはじめ、日本人との意思疎通が円滑にできるよう、これらの取組等に努めています。

生活相談をされたい方やベトナムの事に興味がある方は、以下の時間帯にお気軽アクセスしてみてください。ぜひお待ちしております。

多文化共生コーディネーターの対応時間 <本所> 月・火・水・金 8:45~17:15



## 外国人相談窓口の運営

外国人住民が安心して生活できる社会をつくるため、日常生活の困りごとなどについて相談を受け付けています。



太田 将徳

総括マネージャー

4月から総括マネージャーとして着任しました太田と申します。

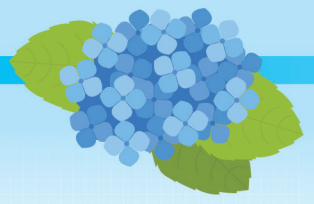
国際交流の仕事は初めてとなりますが、丁寧で親切な対応を心がけていこうと思っています。

当財団には外国人相談窓口があり、外国人住民の日常生活の困りごとなどの相談に対して、ワンストップでその解決のための情報を提供し、また関係機関等をご案内しています。

窓口は鳥取、倉吉、米子の3か所あり、日本人スタッフに加え外国出身のスタッフ(英語、中国語、ベトナム語が話せます)もいます。

今後外国人住民がより暮らしやすい地域社会をつくっていくために、当財団の外国人相談窓口が担う役割は非常に重要なものと認識しており、窓口運営体制のさらなる充実を図っていきます。

これからも外国人住民のさまざまな相談に私たち財団スタッフがやさしく丁寧に対応しますので、ご相談がありましたらお気軽にお近くの外国人相談窓口までご連絡いただきますようお願いいたします。







# 財団の新しい仲間の紹介



事務局長

松本 友恵

みなさん、こんにちは。このたび事務局長となりました松本です。長いコロナ禍で、対面による交流や国内外との往来が思うようにできないときが続きました。そのような中でも、県内の外国人住民の方々が安心・安全に暮らせるよう、通訳ボランティアや日本語クラスの運営などに日々ご尽力いただいている皆さまに、心からの感謝を申し上げます。みんなで我慢してきたその後に、新しい形で交流が生まれていくことにとても期待しています。

残念なことに私には語学センスがまったくありません。やさしい日本語を心がけ、日々のお会いを大切にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



倉吉事務所 所長  
兼マネージャー

住友 正人

4月1日から倉吉事務所長兼マネージャーとなりました住友です。これまで国際交流の仕事が多くしてきたわけではありませんが、ブラジルにおける鳥取県人最初の入植地である第2アリアンサ鳥取村に派遣されている日本語指導員を訪問したり、鳥取県教育委員会と韓国江原道教育厅との交流に関わる仕事に携わってきました。

これまではコロナ禍の中で思うように国際交流ができませんでしたが、外国人観光客の受入れが再開されたことで従来のように様々な国の方々と交流ができることを楽しみにし、お力になることができたいと思っています。



倉吉事務所  
国際交流推進員

高原 伸吾

今年度から新たに倉吉事務所の国際交流推進員となりました高原と申します。

国際交流のお仕事をするのは初めてとなりますが、過去にアメリカ合衆国と大韓民国を訪れた事があります。その際、接する皆さまに温かく迎え入れていただき、とてもうれしかったことを覚えています。またそれと同時に言葉や文化は違いますが、おもてなしの心は全世界共通なのだなと感じました。

私は鳥取県に来てまだ7年目ですが、中部地区を中心に鳥取県での皆さまの生活をおもてなしの心で、少しでもお手伝い出来ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



# 国際交流コーディネーターの紹介



財団には、多文化共生コーディネーターのほか、英語、中国語、ベトナム語の国際交流コーディネーターが在席しています。県内に在住されている外国人住民の日常生活での困りごとについて母語で相談を受け、場合によっては専門機関へつなぎます。また、小学校や公民館などへ出向き文化紹介等を行っています。

## コーディネーターの対応時間

本所	英語	月・水13:30~17:30、金14:30~17:30
	中国語	火9:00~17:00
	ベトナム語	月・火・水・金8:45~17:15
倉吉事務所	中国語	水9:00~17:00
	ベトナム語	金9:00~17:00
米子事務所	中国語	木9:00~17:00
	ベトナム語	月9:00~17:00

※本所にはモンゴル語の外国出身スタッフが在席しています。

# チャットを通して国際交流を楽しみませんか？



4月から国際交流コーディネーターをはじめとする外国出身スタッフとのチャットが賛助会員特典に加わりました。外国出身スタッフは日本語も堪能です。日本語で質問をしたり、スタッフの母語で会話をしたりすることができます。

※詳しくは10ページをご覧ください



# 子どものための異文化理解体験講座の開催

小学校へ当財団の外国出身スタッフを講師として派遣します。出身国の紹介や多言語による遊びの紹介など、参加型体験により、世界を知り考える機会を提供する講座を実施します。

1学期は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため募集を休止していましたが、2学期からの実施に向けて、各小学校へ募集案内をしているところです。





2022年度

# 鳥取県江原道職員 相互派遣研修員の紹介



シム ミエ  
沈 美愛

カンクワン ドチュンチュン  
韓国江原道春川市出身  
研修期間 2022年5月～2023年3月

鳥取県と江原道の友好交流は今年で28年！職員研修員の相互派遣が再開されました。

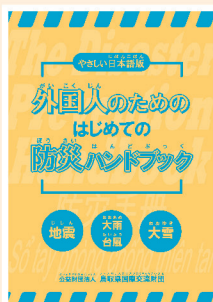
江原道庁では、2018年平昌冬季オリンピックの業績を保存・継承・発展させる業務や2024年江原冬季ユースオリンピックの開催準備関連業務を担当しています。鳥取県庁では、福祉政策、観光分野の研修をします。

鳥取県には美しい山と海があり、四季折々の見どころや食べ物が豊富です。伝統が保存されている地区や、まんがを活用した観光資源が多いのも魅力の一つです。また、人と自然が江原道と似ているので、個人的にとっても親しみを感じています。

研修以外でも、楽しい経験と大切な思い出をたくさん作りたいです。県内に10か所の温泉街があると聞いているので、まずは、すべての温泉を巡り、その魅力に浸りたいです。そして、県内のご当地グルメ巡り。旅行を通じて鳥取の魅力と趣をたっぷり感じたいので、鉄道旅行をしながら、地元の食材で作られた駅弁も食べてみたいです。

この度、3年ぶりに派遣が再開され、鳥取県で研修を受けることができ本当に嬉しく思っています。両地域が末永く、より発展的な友情を築いていくことを願っています。最後に、温かく迎えてくださった鳥取県の皆様に心から感謝いたします。

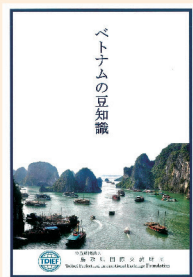
## 国際交流財団発行の冊子を紹介します



### 「外国人のための 初めての防災ハンドブック」リニューアル!

自然災害が起きたときに、外国人住民の皆さんはどのように対応すればいいのでしょうか。本冊子では、日本で起こる主な自然災害(地震、大雨、台風、大雪)について、全編「やさしいにほんご」で紹介しています。また、避難所を自分で書き込めるページや災害メモページもあり、外国人住民の方に広く活用していただきたい一冊です。

ダウンロードは  
こちらから!



### 「ベトナムの豆知識」

皆さん、ベトナムについて知っていますか?現在鳥取県内で最も多い在住者数となるベトナムについて知るための冊子ができました。

ベトナムの文化、風習・習慣などに興味を持っていただき、県内在住のベトナム人の方々との交流にお役立てください。

※冊子は各事務所で配架しています。



## 国際交流フェスティバルの実施

誰でも気軽に国際交流ができる機会を提供しています。在住外国出身者とのつながりを持つきっかけにもなりますよ。9月25日(日)に米子市文化ホールで「よなご国際交流フェスティバル」、11月20日(日)に伯耆しあわせの郷で「くらしよ国際交流フェスティバル」11月23日(水・祝)にとりぎん文化会館で「タイムフェスティバル」を開催の予定です。





# 多文化共生 サポーターとは？



鳥取県には多文化共生サポーターという制度があります。  
外国人住民の方に、より安心・快適な生活を送っていただくためにできた制度です。

## 多文化共生サポーターとは？

鳥取県では、外国人住民が安心して生活できる多文化共生社会の推進のため、外国人住民の抱える問題を早期に発見し、迅速かつ的確に対応することを目的として、外国人住民と行政等との間に立って地域の橋渡し役を務めていただく「鳥取県多文化共生サポーター」という制度を設けています。

県からサポーターとして委嘱された方は、外国人住民の生活に係る様々な相談・要望について適切に関係機関へ取り次ぐこと等により解決に努めたり、またサポーター自身や行政機関等から収集した多文化共生の推進に資する情報を伝達する等の活動を行っています。

## 多文化共生サポーターの紹介



私達がサポートします！



※6月には新しく「にほんごがくしゅうかい」(鳥取市)がサポーターに加まりました。

### ① 多言語国際交流サポートTIA(鳥取市)

仕事や生活でのあらゆる場面における多種多様な相談に対してきめ細かな対応を行い、また新型コロナワクチン接種に関する情報を提供するなどのサポート活動を行っています。日本人の配偶者の外国人からの相談が多く、語学研修を開催する中で相談を受けることもあります。

### ② タイム(とっとり国際交流連絡会)(鳥取市)

年2回の留学生支援バザーや多文化理解セミナーの実施が恒例行事です。サポーター活動としては、留学生や地域に住んでいる外国人の方に対し、地域情報等の提供や生活相談のサポート等を行っています。

### ③ Toriフレンドnetwork(倉吉市)

倉吉市主催の「日本語学習会」に受講生や関係者との交流、相談、サポートなどで協力しており、その教室の中で相談を受けることが多くあります。また、外国人住民からの相談サポートに加えて、行政から来た文書の翻訳を頼まれることもあります。

### ④ 伊藤 信広さん(米子市)

主にALT(外国語指導助手)やCIR(国際交流員)の友人のケアをしており、ワクチン接種の予約についてサポートも行いました。なお、米子市の飲食キャンペーン関係の情報提供が、生活するうえで助かると在住外国人の方に好評です。

## サポーター研修の開催

2021年11月に実施した研修では、県内全てのサポーターの方にご参加いただき、まず広島出入国在留管理局境港出張所から、新型コロナウイルス感染症対策として新規入国制限の見直しを図ったことについての説明があり、その後各サポーターが各々の活動報告を行いました。

県交流推進課及び当財団職員を含めた参加者全員による意見交換では、サポーターの方から直接出入国在留管理庁に対して制度等の質問が行われたほか、サポーター活動の対象拡大についても活発な議論がなされるなど有意義な研修の場となりました。

